

# 福井県は安全性の向上を確かめ、高浜発電所3、4号機の再稼働に同意しました。

## 再稼働までの主な経緯

平成23年 3月11日	東日本大震災、東京電力㈱福島第一原子力発電所 事故発生
平成24年 9月5日	大飯3、4号機の再稼働に係る報告書以降、高浜3、4号機について県原子力安全専門委員会が13回にわたって審議（平成27年12月）
平成25年 7月8日	関西電力㈱が高浜3、4号機の安全審査を原子力規制委員会に申請
平成27年 2月12日	原子力規制委員会が原子炉設置変更を許可
2月17日	資源エネルギー庁が政府の再稼働方針を県に伝達。県が5項目の要請事項を提示
3月20日	高浜町議会が再稼働の同意を高浜町長に報告
10月9日	原子力規制委員会が工事計画と保安規定の変更を認可。全ての審査が終了
12月3日	高浜町長が再稼働に対する理解を表明
12月17日	福井県議会が「再稼働する必要があると判断する」との決議案を可決
12月18日	安倍総理大臣が原子力防災会議で、原子力発電の必要性について国民理解を進め、原子力政策に責任を持って取り組むと発言
12月19日	県原子力安全専門委員会が知事に報告書を提出
12月20日	林経済産業大臣が5項目について回答
12月21日	知事が高浜発電所の安全対策を現場確認
12月22日	知事が関西電力㈱社長に安全確保の決意を確認
12月24日	知事が林経済産業大臣に再稼働の同意を伝達
平成28年 1月29日	福井地裁が高浜3、4号機の運転禁止の仮処分決定を取消
	高浜3号機が再稼働

## 安倍総理大臣や林経済産業大臣が原子力政策に関する国の方針を表明

**安倍総理大臣、わが国の原子力全般の将来について発言**  
 安倍総理大臣は、12月18日、原子力防災会議において、COP21のパリ合意を受け、原子力のような課題を抱える本県を念頭に、我が国の原子力全般の将来について発言  
 「原子力は、「資源の乏しい我が国にとって、欠かすことができない」ものであり、「原子力については、再稼働のみならず、原子力防災対策、廃炉、使用済燃料対策、立地地域の振興など課題は多岐にわたる。政府としてこれらに責任を持って取り組む」との方針を表明

## 林経済産業大臣、県が求めた5項目について回答

県が求めた5項目	国からの回答
原子力発電の重要性や必要性に対する国民理解の促進	全都道府県でシンポジウムや説明会等を開催し、原子力に対する国の覚悟と対応について、さらなる理解が得られるよう全力で取り組む
使用済燃料の中間貯蔵施設の県外立地に係る国の積極的関与	政府と事業者による協議会などで、事業者が策定した「使用済燃料対策推進計画」を政府として責任を持って進行管理する
エネルギーミックス（2030年度の電源構成比率）の明確化	今後の原子力発電所の方向性や事業環境整備を含め、エネルギーミックスの実現へ向け、具体的な対応を進めていく
福島第一原子力発電所事故を教訓にした事故防止体制の強化	自治体や電気事業者と連携し、実動部隊も含めた訓練を通じて緊急時対応等の充実強化に継続的に取り組む
地元雇用・地域経済への影響への対応	電源立地地域交付金制度等の充実を図り、企業誘致や産業転換・地域振興などの対策を財政措置も含め総合的に進めていく



林経済産業大臣に再稼働の同意を伝える西川知事

その上で、地元高浜町や県議会の意見、原子力安全専門委員会の安全面の評価、国や事業者から示された方針などを総合的に考えて、再稼働に同意しました。

## 知事記者会見の要旨

（平成27年12月22日）

- ◆ 本県には、再稼働だけでなく、廃炉、40年超運転、使用済燃料の中間貯蔵、「もんじゅ」などの課題が集中しており、今後の原子力政策に対する国の姿勢と覚悟をただす必要があった。
- ◆ 国に対し、「原子力の重要性・必要性に対する国民理解の促進」など5項目を示し、実現を求めてきた。
- ◆ 本県の要請に応じ、安倍内閣総理大臣は、12月18日の原子力防災会議で、原子力の様々な課題を抱えている本県を念頭に、我が国の原子力全般の将来について考え方を示した。
- ◆ 林経済産業大臣は12月20日、本県が要請していた5項目に対する具体的な方針を示した。これは、国が前面に立つて対応する姿に転じたものであり、本県の要請に応えたものと評価できる。
- ◆ 発電所の安全確保については、県原子力安全専門委員会から報告を受け、12月21日には自ら現地を視察し、関西電力㈱八木社長に安全確保の決意を確認した。
- ◆ 地元高浜町長が12月3日、「再稼働について理解する」との見解を示し、県議会が同日17日、「高浜3、4号機は再稼働する必要がある」との決議案を可決しており、地元住民や県民の理解の表れと考える。
- ◆ 再稼働については、このように十分慎重に手順を踏んで対処してきた。その上で、地元高浜町や県議会の意見、県原子力安全専門委員会の評価、国や事業者から示された方針などを総合的に勘案し、再稼働に同意するとの判断に至った。

## 安全専門委員会等による安全対策の確認

県原子力安全専門委員会の中川委員長は、12月19日、安全対策などの審議結果を取りまとめた報告書を知事に提出  
 知事は、12月21日、高浜発電所を視察し、新規制基準対応工事の実施結果を確認

## 高浜3、4号機の安全性確認結果

電源確保	空冷式発電装置や電源車を配備し、全ての交流電源を失った時にも炉心を冷やすために必要なポンプなどに電源を供給できる対策を実施
冷却機能の確保	万が一、何らかの原因で炉心を冷やす設備が全て使用できなくなった場合を想定し、消防ポンプや消火系統ラインを活用して冷やす手段を整備
安全管理体制の強化	発電所に常駐する初動対応要員を増強するとともに、事故制圧のための教育訓練を改善
外的事象への対応	津波に対して十分な高さを有する防潮堤・防潮ゲートの設置や、竜巻による飛来物の衝突に対して防護壁を設置

## 関西電力㈱社長が安全確保への決意を報告

知事は、12月21日、関西電力㈱八木社長と会談し、再稼働に当たっての決意、安全管理体制の強化策や人材の育成方針などについて確認

## 福井県議会が再稼働を決議



決議案を賛成多数で可決した県議会

福井県議会は、12月17日、立地地域住民の安全と安心を確保し、我が国のエネルギー安全保障や地球温暖化対策などを確立していく必要があるとし、「再稼働する必要があると判断する」との決議案を可決

## 県の監視体制および事業者との情報連絡体制を強化

**再稼働工程の節目に県自ら現場に立ち会い**  
 燃料装荷や原子炉起動などの局面において、県職員が現場に立ち会い、事業者の安全管理の状況を確認

## 事業者との情報連絡体制を強化・情報を常にオープンに

異常事態をはじめ、原子炉の安全性に直接影響しない軽微なトラブルについても、即時に発電所の状況を把握・分析、必要な措置を判断し、いち早く地元・県民に連絡・対応



事業者の重大事故対応訓練（平成28年1月11日～13日）

県民の安全・安心を守るため、福井県は、原子力発電所の安全追求に終わりはないとの姿勢を貫き、引き続き一つひとつ丁寧かつ真摯に対応してまいります。

この記事に関するお問い合わせ

福井県安全環境部原子力安全対策課  
 TEL 0776(20)0313